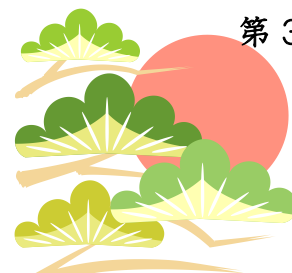


遠若山

第3号

# 松林寺だより



平成22年12月19日発行

はじめに

前回に引き続き松林寺の各行事の様子をご案内します。各行事にご参詣下さる時のご参考になればと思います。

## 1、行事報告

### ① 平成22年8月16日お盆法要



勤行後アニメ「くもの糸」上映



上映後にお茶会

### ② 平成22年9月23日秋彼岸法要



勤行の後スクリーンにてアニメ「二河白道」上映



### ③ 平成22年11月14日報恩講



勤行



岡崎の浄泉寺戸田恵信師によるお説教

2、平成 23 年の年忌表です。ご確認の上、年忌に当たる方は法事の予定を当寺までご連絡ください。

1 周忌 平成 22 年 (2010)	33 回忌 昭和 54 年 (1979)
3 回忌 平成 21 年 (2009)	37 回忌 昭和 50 年 (1975)
7 回忌 平成 17 年 (2005)	43 回忌 昭和 44 年 (1969)
13 回忌 平成 11 年 (1999)	47 回忌 昭和 40 年 (1965)
17 回忌 平成 7 年 (1995)	50 回忌 昭和 37 年 (1962)
23 回忌 昭和 64 年 (1989)	100 回忌 明治 45 年 大正元年 (1912)
27 回忌 昭和 60 年 (1985)	

### 3、第 3 回基礎講座

今回は、お仏壇の真ん中で立っておられるご本尊<sup>ほんぞん</sup>についてです。皆様のお仏壇の真ん中には木像か絵像の仏像が立っておられると思います。いったいこの仏<sup>ほとけ</sup>さまは誰でしょう？お釈迦<sup>しゃか</sup>さま？阿弥<sup>あみだ</sup>陀<sup>だ</sup>さま？菩薩<sup>ぼさつ</sup>さまでしょうか？

正解は阿弥<sup>あみだ</sup>陀<sup>だ</sup>さまです。正確には「阿弥<sup>あみだ</sup>陀<sup>だ</sup>如来<sup>にょらい</sup> (阿弥<sup>あみだ</sup>陀<sup>だ</sup>仏<sup>ぶつ</sup>)」さまです。次のように考えると、どなたであるかすぐ分かります。私たちはいつもお仏壇の前で「なまんだぶつ (なもあみだぶつ)」と手を合わせています。私たちは普段から仏壇の真ん中に立っておられる方のお名前を手を合わせながら何回も唱<sup>とな</sup>えているのです。

では阿弥<sup>あみだ</sup>陀<sup>だ</sup>さまはどのようなお方なのでしょうか？まずは歴史上に実在したお方ではありません。実在したのはお釈迦<sup>しゃか</sup>さまで、阿弥<sup>あみだ</sup>陀<sup>だ</sup>さまはお釈迦<sup>しゃか</sup>様の説法の中に出てくるお方です。お釈迦<sup>しゃか</sup>様は人々に真実とは何かを伝えようとされましたが、真実<sup>まこと</sup>は光であり、色も形もありません。しかし我々は物にとらわれてしまいます。そこでお釈迦<sup>しゃか</sup>様は我々に分かりやすくお話しされるために様々な物語形式でお話しされました。そして真実<sup>まこと</sup>のお姿を阿弥<sup>あみだ</sup>陀<sup>だ</sup>さまに例えられました。お釈迦<sup>しゃか</sup>さまも親鸞<sup>あが</sup>さまも「私<sup>わが</sup>を崇めるのではなく真実<sup>まこと</sup>を崇めなさい。」と仰せられました。その真実<sup>まこと</sup>のお姿が阿弥<sup>あみだ</sup>陀<sup>だ</sup>さまなのです。ですから私たちが手を合わせる仏壇の真ん中に立っておられる方は阿弥<sup>あみだ</sup>陀<sup>だ</sup>さまなのです。

\*\*\*\*\*

〒455-0054

名古屋市港区遠若町 2 丁目 35 番地

真宗高田派 遠若山 松林寺

TEL & Fax 052-661-5741

ホームページ <http://www.n-syorinji.net>

\*\*\*\*\*

